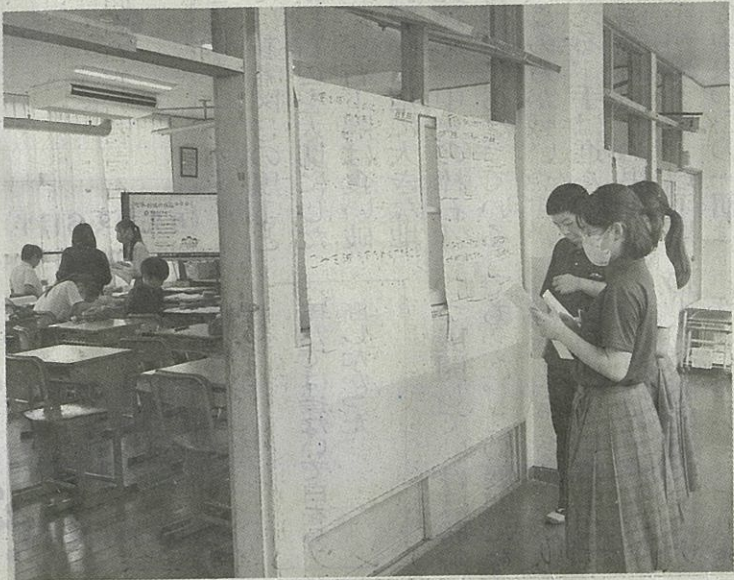


学びを生かし、探究テーマを考える生徒たち（桃山中で）



## 夏休みの探究学習へ

桃山中 視点や手法学ぶ

桃山中（糸本康浩校長）で3日、夏休みの探究の進め方を学ぶ出前

授業が行われた。2年を選択。何ができるか生100人が講師から学んだ課題の見付け方や調べ方を参考に、それぞれの研究テーマについて探究計画を作成した。

清水大輔君は「和泉さんの『探究に失敗やミスは無く、前に進むための大事な材料』という言葉が心に残った。身近なことから課題を見つけ、探究を重ねることで、より良い未来になることを知ることができた」と話した。

県の「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」の一環。学校や企業の研修プログラムを支援するmoti baseの和泉宏代表理事を講師に迎え、「探究ってなに？学びを深める問いづくりから提案まで」をテーマに、探究学習に必要な視点や手法を学んだ。

生徒たちは各自が選んだテーマについて、タブレット端末を活用して統計データや先進地事例を調べながら探究学習を進める。

生徒たちは過去の出前授業で市職員や地域住民を講師に学んだ防災、ごみ問題などの課題から興味のある分野

10月のクラス発表会を経て、11月の成果発表会に臨む。（野村）